

韓国での口蹄疫発生について

2023年5月、韓国で4年ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。過去の国内発生事例（2000年,2010年）では、韓国で発生が確認された後に日本でも発生が確認されており、現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。農家の皆さまにおかれましては、今一度発生予防の徹底をよろしくお願ひします。

発生予防の徹底をお願いします！！

- ☑農場の出入り口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- ☑農場の出入り時は、**専用の靴・衣服**を着用し、**手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。
- ☑畜舎の出入り口に**専用の靴の着用や踏込消毒槽等**を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。
- ☑従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようにしましょう。

お 願 い

立 入 禁 止

家畜伝染病予防のため
関係者以外

1週間以内に海外渡航歴のある方は、
お申し出ください。
畜主

疑わしい症状は直ちに通報を！！

- ☑**毎日、飼養家畜の健康観察**を行い、疑わしい症状があればすぐに**獣医師や家畜保健所に通報**しましょう。
- ☑**牛では、1頭のみに着目せず**、泡状のよだれを多く流している個体が多い、下記の症状が急速に広がるなど、**群としての異常の有無を確認**することが**重要**です。

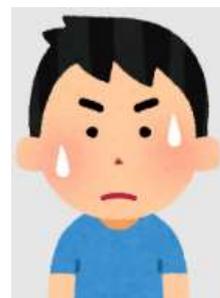
※口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。



口蹄疫特有の粘着性のあるヨダレ



牛の舌にできたびらん（水泡が破れた痕）



県内における異常産サーベイランスについて

夏が近づき、蚊などの吸血昆虫が活発に活動する季節となりました。これからの季節に注意すべき感染症は**異常産ウイルス**による感染症です。異常産ウイルスは牛に流死産や先天異常といった異常産を引き起こすウイルスの総称です。なかでもアカバネウイルスやチュウザンウイルスなどは**吸血昆虫**によって感染するため**夏に最も感染の危険性が高まります**。

家畜保健衛生所では、**異常産ウイルスの流行状況を調べるため、毎年6月から11月にかけて、サーベイランス(調査)を実施**しております。初めて夏を過ごす子牛の血液を調べ、異常産ウイルスに対する抗体が増加すると今夏感染したことの証拠となり、**ウイルスの流行状況を把握**できます。ウイルスの流行を把握することでさらなる感染を防ぐための対策につなげることができると考えております。

今年は5つの農場にご協力いただき、異常産サーベイランスを実施する予定となっております。ご協力いただく農家の皆様には厚く御礼申し上げます。

また、異常産ウイルス流行防止のため、牛の繁殖をされている農家の皆様には**異常産ワクチンや吸血昆虫の対策**をお願い申し上げます。

吸血昆虫対策について

吸血昆虫は家畜にとってストレスの原因となりますが、それだけではなく、**異常産ウイルス**や**牛伝染性リンパ腫ウイルス(BLV、旧称牛白血病)**といった病気の感染源にもなります。これらの感染症予防のためにも、吸血昆虫の対策をしましょう。



●牛舎の清掃、周囲の草刈り

吸血昆虫の幼虫は牛の糞尿や残餌などの有機物を栄養にして成長します。また、成虫は夜間に草むらで休息するため、周辺の草刈りをすることで生息環境を減らせます。

●防虫ネットの設置

牛舎に市販の防虫ネットを張り巡らせることで、吸血昆虫の侵入を防ぎます。費用と手間はかかりますが、高い効果が見込まれます。

●ハエ取り紙の設置

牛舎内に市販のハエ取り紙を設置します。定期的な交換が必要なほか、ホコリに弱いので牛舎内の清掃も合わせて実施しましょう。

●殺虫剤散布

殺虫剤を散布して吸血昆虫を駆除します。簡易な方法ですが、殺虫剤に強い吸血昆虫の出現に注意が必要です。ハッカ油などの天然成分も有効です。

また、吸血昆虫が媒介する牛伝染性リンパ腫について、和牛繁殖巡回に合わせて意識調査のアンケートを実施予定です。お手数ですが、ご協力をお願いいたします。

編集後記：どんどん暑くなってきました。節約のために家から水筒を持って出勤しますが、すぐに空になり結局自動販売機でも買ってしまいます。(門脇)